

第2回武蔵野市歴史資料館（仮称）検討有識者会議

日 時 平成15年12月22日（月）午後6時00分～8時30分

場 所 武蔵野商工会館

出席者 土屋市長、小池牧子委員、小林真理委員、中里崇亮委員、西脇康委員、舩崎尚委員、三浦展委員

1. 第1回歴史資料館検討有識者会議の内容について

（前回の会議内容の確認）

2. 市内施設視察の報告

（平成15年11月11日に実施した委員による市内視察の報告）

3. 意見交換及び提案

【委員】視察をして、資料の保存状況が不十分な状態にあることが分かった。東京都が設置したものかもしれないが、文化園の前にあるルート図も、立派だが情報が古いままになっていると同時に汚れて見えない。誰も知らなくなった「市民文化会館が市役所の跡」などを、御門訴の碑のような立て札を建てたり、ルート図などにきちんと入れて残していく必要がある。武蔵野の歴史の奥深さを伝えていきたい。

【委員】歴史は学校などで学ばされると楽しくない。参加性が必要。オーラルヒストリーを子どもにやらせてもらうなど、総合学習と上手く連携できるといいと思う。オーラルヒストリーを行うには、話してくれる人をどのように開拓するかが課題となる。人は、値段が付くと真剣に見る。ミュージアムショップとして西荻窪の古道具屋が入るなどしてもよいのではないかな。

【委員】いつも子どもが対象となるが、武蔵野に住む老若男女が参加できるものがよい。何回も通え、歴史だけではない、集まれる場所がよい。運営をするNPO等があるかが心配。運営が続かないのが施設の実態。かなりコンセプトがはっきりしていないと難しい。

【委員】他の自治体とどこまで連携できるかがポイントだと思う（パスネットのように）。

【市長】私が市長になってからの大きな出来事は、風化しない内に本にしてきた。宅地開発の要綱をまとめたものなど行政史を学ぶ人には大切な資料となっている。学童保育が武蔵野市から始まったことを伝える『学童保育ここに始まる』もある。農家を移築して生きた農業がやれるとよいと思っている。このようなところと、連携できないかな。

【委員】ふるさとの的にすると、他に勝てないのではないかな。第3セクターのテーマパークも難しい。問題は何をするかだと思う。

【委員】「2時間くらい居たい場所」「本物で懐かしいもの」がよい。

【市長】つくりものの追体験は東京ディズニーランドに負けてしまう。国定公園などとも面積が違う。図書館や農水省跡地に出来る施設とどのように連携をすればよいか課題である。おいしい物を食べさせる、遊ばせる、風光明媚が人気が出る要素ではないかな。

【委員】専門家と一般の人と、どのように折り合いをつけるか。「写真館」というのもある。目で見るといえるのは、重要なことだと思う。商店街などが変わるたびに、写真を持ってきてもらうように出来るとよい。このような施設では常に資料を探して、いざという時に持ってこられる人が必

要である。

【委員】みんなが資料とっていないものをどのようにして収集するか。岐阜県で行われた歴史調べは、学校の社会の先生が中心になって行われていた。写真は家の中にあるので、人のつながりが大切である。

【委員】話をしていくことが大切である。

【委員】武蔵野市で8ミリを持っている人がいるはず。肖像権の問題もあるが、デジタル化をするかわりに資料を提供してもらうなどが出来るとよい。「市民がつくる武蔵野の歴史」などのプロジェクトをやったらどうか。各地域での飲み会を兼ねたオーラルヒストリーを開くなどもよいと思う。

【委員】出したい人が出るので、問題はないのではないかと。一般の人と役所の人との仲介をする中間的な立場の人が居た方がよい。また、写真の募集は具体的な方がよい。例えば「昭和 年くらいの写真」など。

【市長】まず来年から、公募で20～30人をあつめて、例えば「市民がつくる武蔵野の歴史写真集」の編纂を始めてみてはどうか。

【事務局】飽きさせないために、説明板の内容を変えていくことは考えられないか。

【委員】しかけづくりと、どの様に運営していくかが大切だ。

【委員】写真集めも、毎年テーマを決めるとよい。「今年は鉄道」など。

【委員】画像、映像は人を引き寄せる力がある。もうあと2つくらい柱があるとよい。人脈での写真あつめが一番よいと思う。人が集まる駅に写真収集の広報をするのもよい。

【委員】現代アートのNPOが「街を見直そう」というのをやっている。

【委員】戦前の建物は、解体する前に写真を撮るといった条例などが出来るとよい。

「壊さないで下さい、保存します」というのは難しいので、建築の専門家が写真を撮るなどがあるとよい。

【市長】映像、写真を使うというのは、ひとつの柱となりうる。来年あたりに何かソフトで活動ができるとうい。

【委員】散歩ルートを提案する。市民から散歩道の提案をあつめるのもよい。

【市長】今回の検討会をまとめると、「映像・写真をうまく使う」「室内に立てこもらず、街の中でやる」「市民参加」となるのではないかと。

武蔵野市の多くのプロジェクトが成功しているのは、ソフトをまず考えたところにある。いろいろな所を視察してくればよい案が出てくると思う。